

市民のスポーツに関する意識・活動状況調査報告書<概要版>

1. 実施概要

(1) 調査方法	・アンケート調査（郵送法：調査票郵送，郵送回答）
(2) 調査対象	・18歳以上の市民3,000人 ・住民基本台帳からの無作為抽出
(3) 調査期間	・平成27年7月31日（金）～平成27年8月13日（木）
(4) 有効回答	・880（有効回答率29.3%）

2. 回答者属性

<区別内訳>

区	人数(人)	比率
北区	87	9.9%
上京区	38	4.3%
左京区	100	11.4%
中京区	68	7.7%
東山区	25	2.8%
山科区	81	9.2%
下京区	53	6.0%
南区	46	5.2%
右京区	117	13.3%
西京区	104	11.8%
伏見区	155	17.6%
無回答	6	0.7%
計	880	100.0%

<性別・年齢別内訳>

年代↓ 性別→	男性	女性	無回答	計(人)	比率
10～20歳代	31	48	0	79	9.0%
30歳代	44	69	0	113	12.8%
40歳代	62	88	0	150	17.0%
50歳代	62	74	1	137	15.6%
60歳代	81	102	0	183	20.8%
70歳以上	99	110	2	211	24.0%
無回答	0	0	7	7	0.8%
計(人)	379	491	10	880	100.0%
比率	43.1%	55.8%	1.1%	100.0%	

<職業別内訳>

職業	計(人)	比率
自営業・自由業	92	10.5%
会社員・公務員等，給与所得者	303	34.4%
主婦・主夫	192	21.8%
学生	34	3.9%
無職	194	22.0%
その他	54	6.1%
無回答	11	1.3%
計(人)	880	100.0%

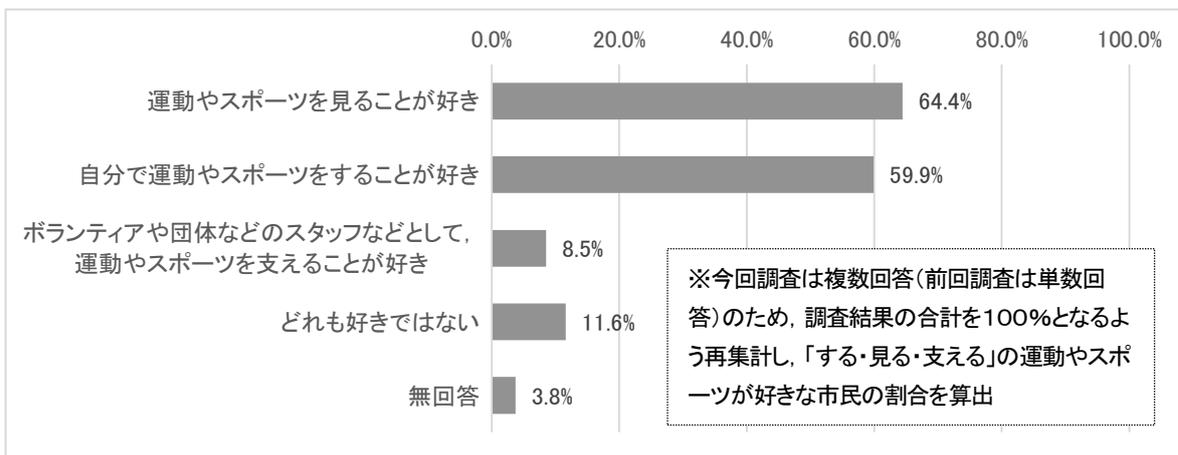
(注)

- ◆ 百分比は小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
- ◆ 複数回答の百分比の合計は100%を超えます。
- ◆ 文中のNは設問に対する回答者数を示しています。
- ◆ 「前回調査」
 - ・平成22年実施の「市民のスポーツに関する意識・活動状況調査」
 - ・調査対象；20歳以上の市民3,000人（回収率30.2%）

3. 集計結果

(1) 運動やスポーツは好きか (N=880)

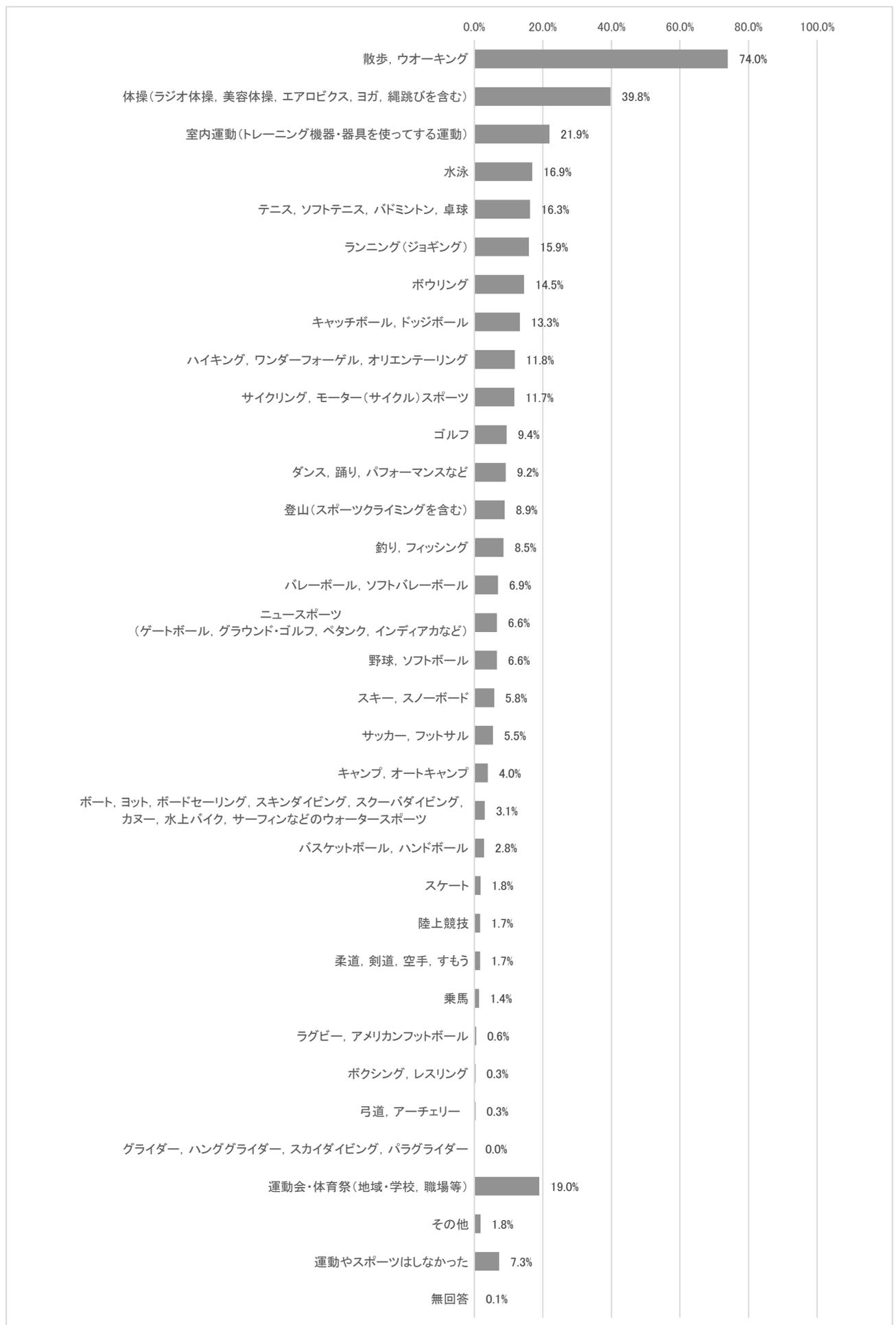
- 運動やスポーツを見るのが好きな市民は64.4%。
- 運動やスポーツをすることが好きな市民は59.9%。
- 運動やスポーツを支えるのが好きな市民は8.5%。
- 運動やスポーツが好きでない市民は11.6% (前回調査は77.6%)。*



(2) この1年間に行った運動やスポーツの種類 (N=880)

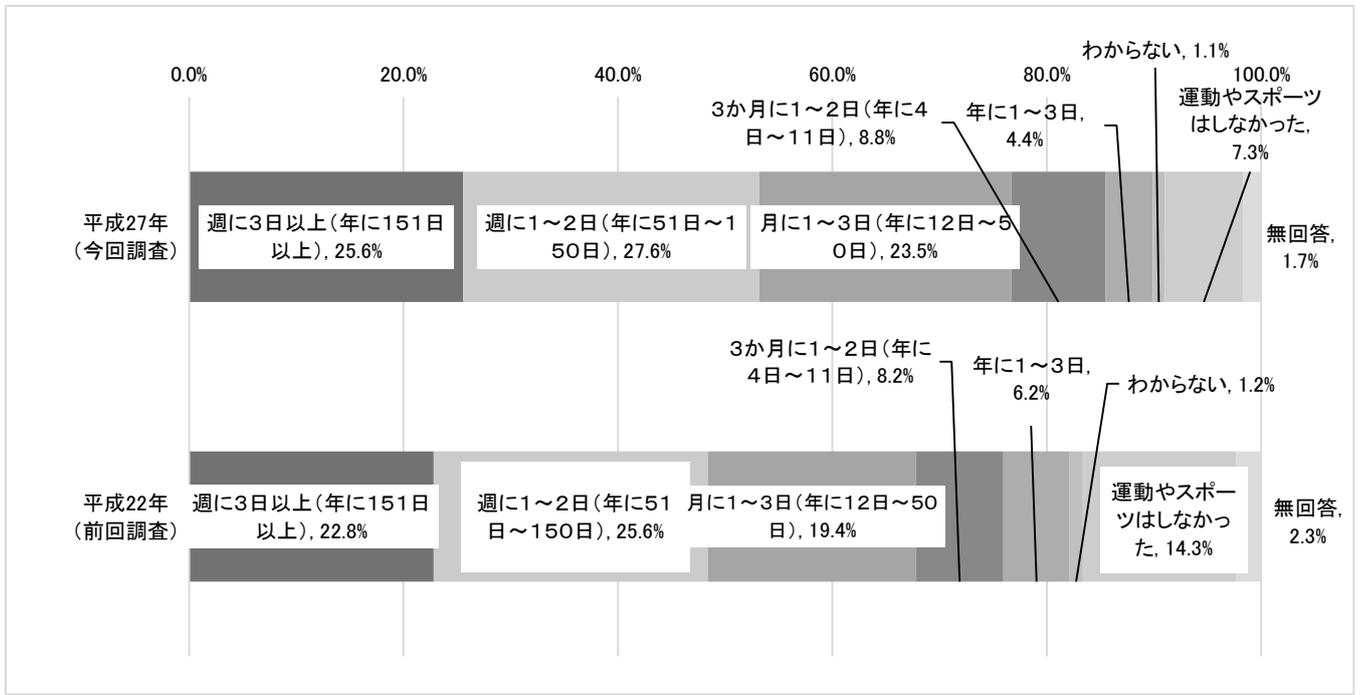
- この1年間に行った運動やスポーツでは、「散歩、ウオーキング」「体操」「室内運動」が上位。この傾向は前回調査とほぼ同様の傾向。
- 地域・学校などの「運動会・体育祭」への参加は19.0%。
- 92.6%の方が何らかの運動やスポーツをし、運動やスポーツをしなかった人は7.3% (前回調査は約14.3%)

順位	種目	実施率	順位	種目	実施率
1	散歩, ウオーキング	74.0%	18	スキー, スノーボード	5.8%
2	体操 (ラジオ体操, 美容体操, エアロビクス, ヨガ, 縄跳びを含む)	39.8%	19	サッカー, フットサル	5.5%
3	室内運動 (トレーニング機器・器具を使ってする運動)	21.9%	20	キャンプ, オートキャンプ	4.0%
4	水泳	16.9%	21	ボート, ヨット, ボードセーリング, スキンダイビング, スクーバダイビング, カヌー, 水上バイク, サーフィンなどのウォータースポーツ	3.1%
5	テニス, ソフトテニス, バドミントン, 卓球	16.3%	22	バスケットボール, ハンドボール	2.8%
6	ランニング (ジョギング)	15.9%	23	スケート	1.8%
7	ボウリング	14.5%	24	陸上競技	1.7%
8	キャッチボール, ドッジボール	13.3%	25	柔道, 剣道, 空手, すもう	1.7%
9	ハイキング, ワンダーフォーゲル, オリエンテーリング	11.8%	26	乗馬	1.4%
10	サイクリング, モーター (サイクル) スポーツ	11.7%	27	ラグビー, アメリカンフットボール	0.6%
11	ゴルフ	9.4%	28	ボクシング, レスリング	0.3%
12	ダンス, 踊り, パフォーマンスなど	9.2%	29	弓道,アーチェリー	0.3%
13	登山 (スポーツクライミングを含む)	8.9%	30	グライダー, ハンググライダー, スカイダイビング, パラグライダー	0.0%
14	釣り, フィッシング	8.5%		運動会・体育祭 (地域・学校, 職場等)	19.0%
15	バレーボール, ソフトバレーボール	6.9%		その他	1.8%
16	ニュースポーツ (ゲートボール, グラウンド・ゴルフ, ペタンク, インディアカなど)	6.6%		運動やスポーツはしなかった	7.3%
17	野球, ソフトボール	6.6%		無回答	0.1%



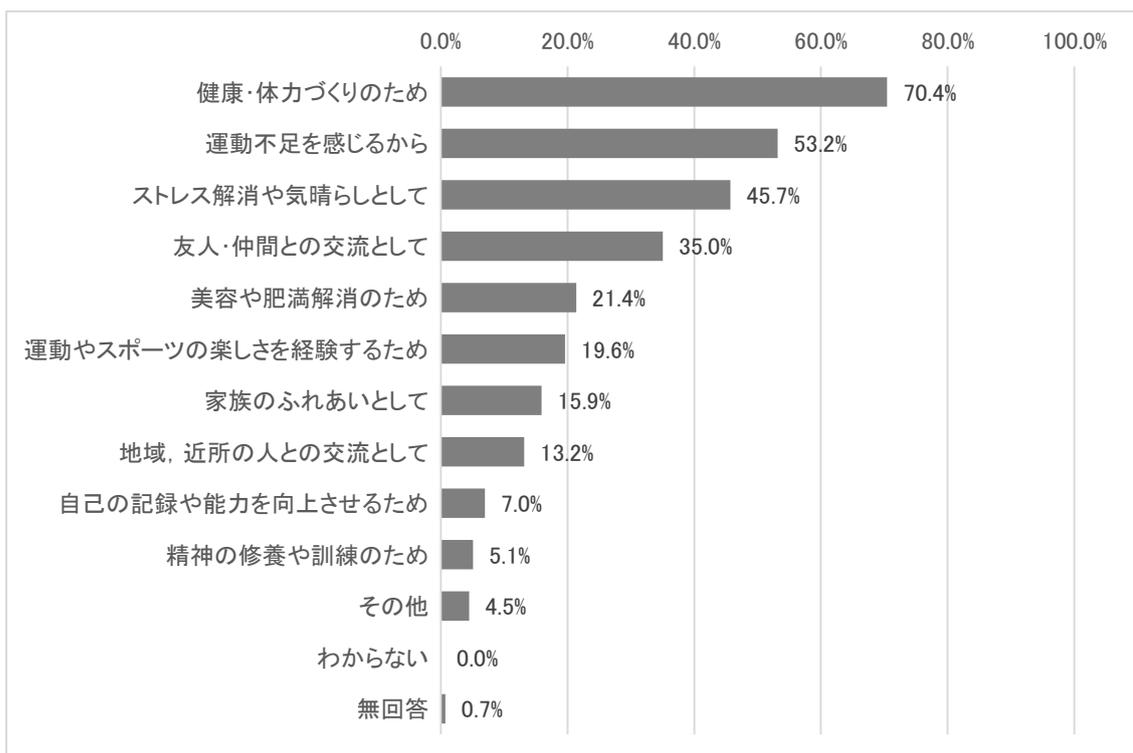
(3) この1年間に行った運動やスポーツの日数 (N=880)

○週1回以上の運動・スポーツ実施率は53.2%と5割を超える。
 ○前回調査(48.4%)を上回り、全国(H25年調査)の実施率(58.7%)に近づく。



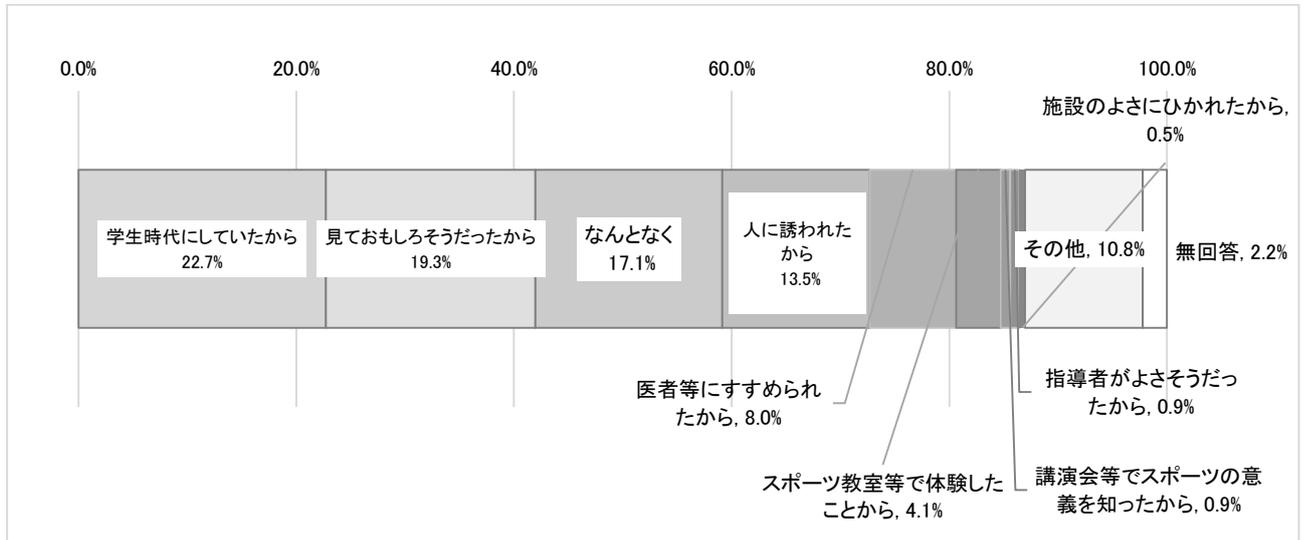
(4) 運動やスポーツをする理由 (N=805)

○運動やスポーツをする理由は「健康・体力づくりのため」「運動不足を感じるから」が多い。



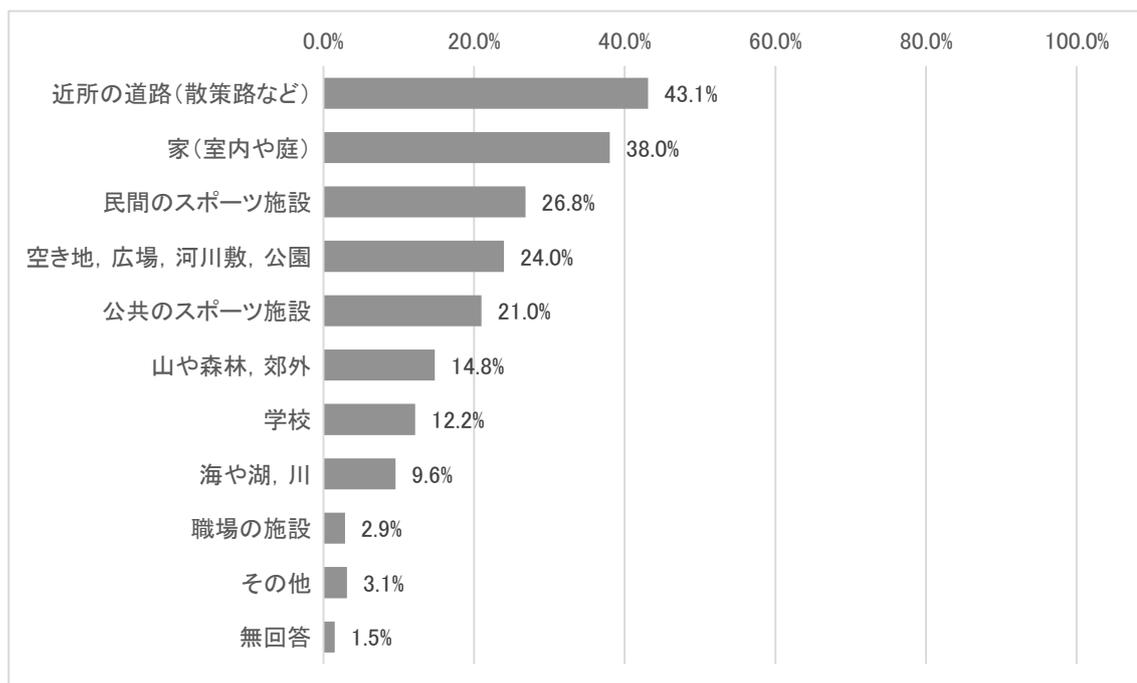
(5) 運動やスポーツを始めたきっかけ (N=805)

○運動やスポーツを始めたきっかけは、「学生時代にしていたから」「見ておもしろそうだったから」が多い。



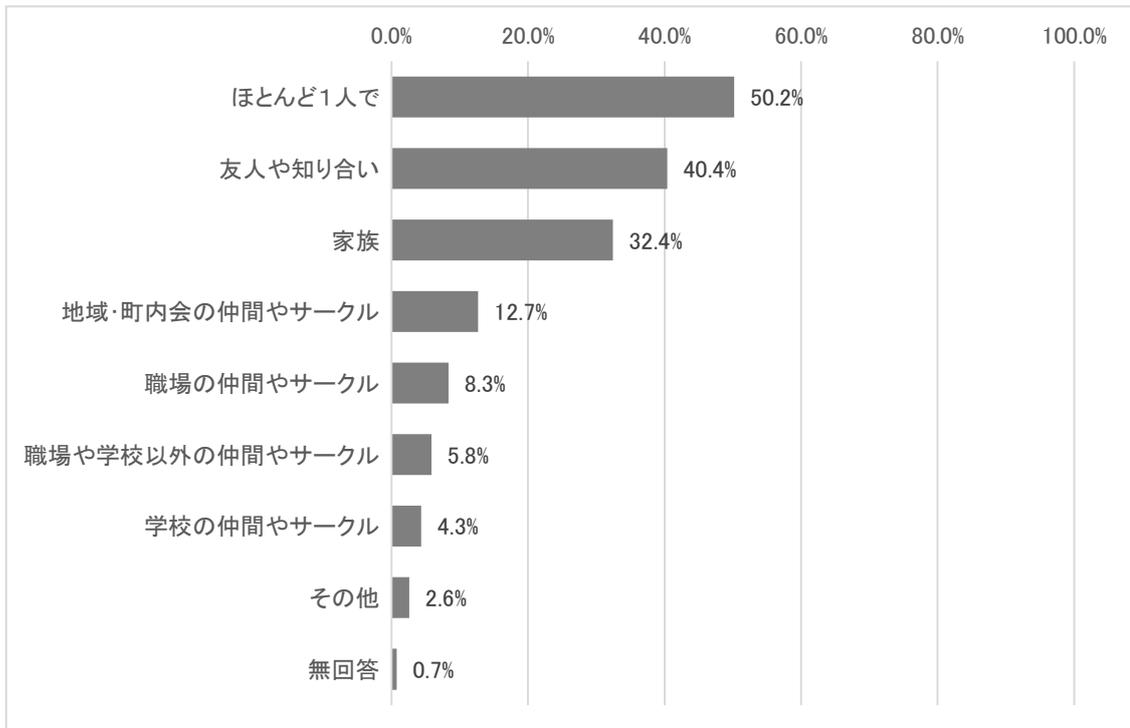
(6) 運動やスポーツをする場所 (N=805)

○運動やスポーツをしている場所は「近所の道路（散策路など）」「家（室内や庭）」が多い（約4割）。
○次いで、「民間のスポーツ施設」「空き地，広場，河川敷，公園」「公共のスポーツ施設」などいろいろな場所で行われている。



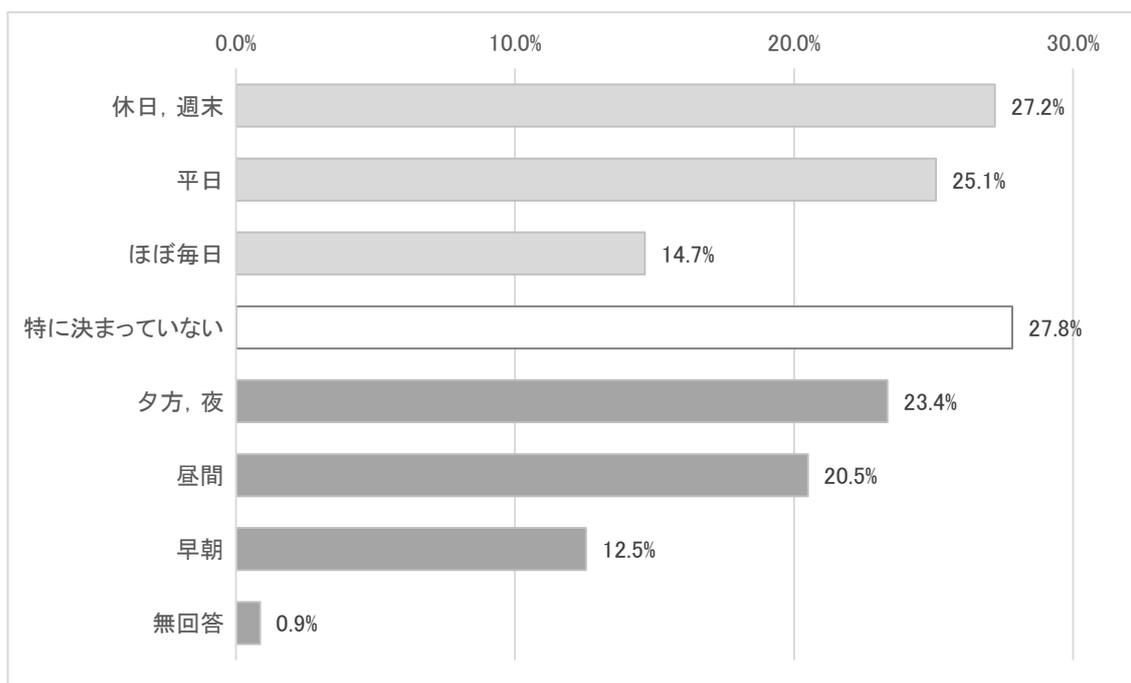
(7) だれといっしょに運動やスポーツをしているか (N=805)

○「ほとんど1人で」運動やスポーツをする人が最も多いが、「友人や知り合い」「家族」と一緒にする人も多い。



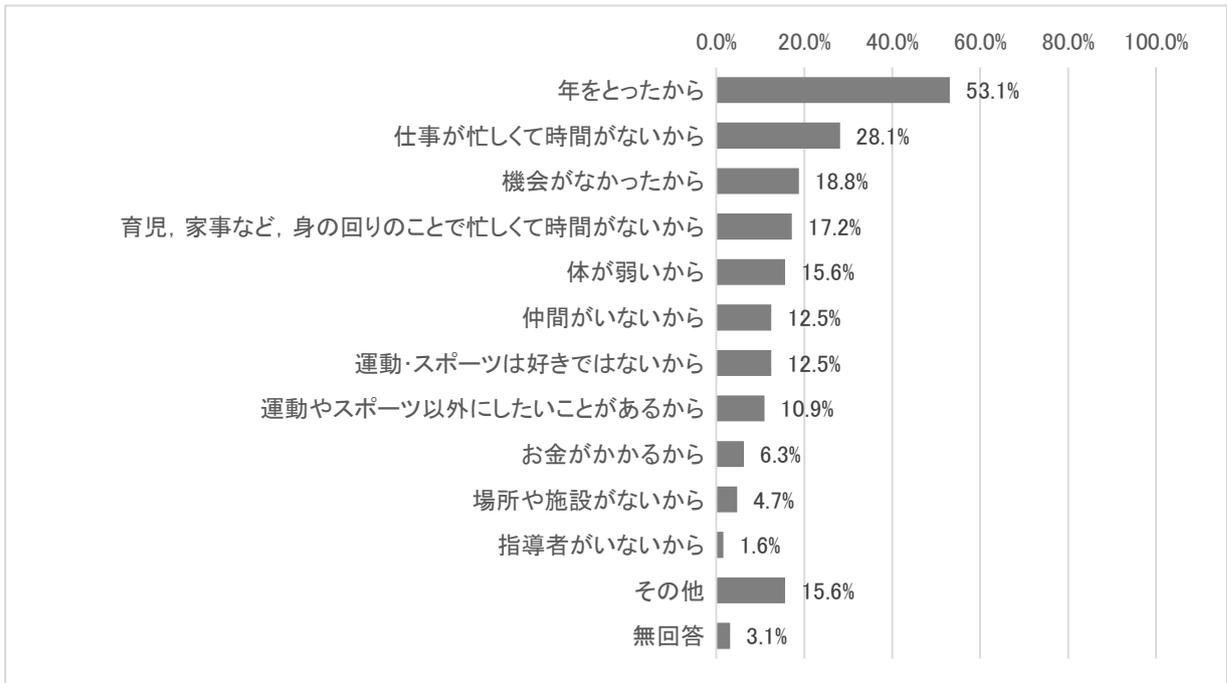
(8) 運動やスポーツをする曜日・時間帯 (N=805)

○特に決まっていない人が多く、どの曜日・時間帯もさほど差がない。

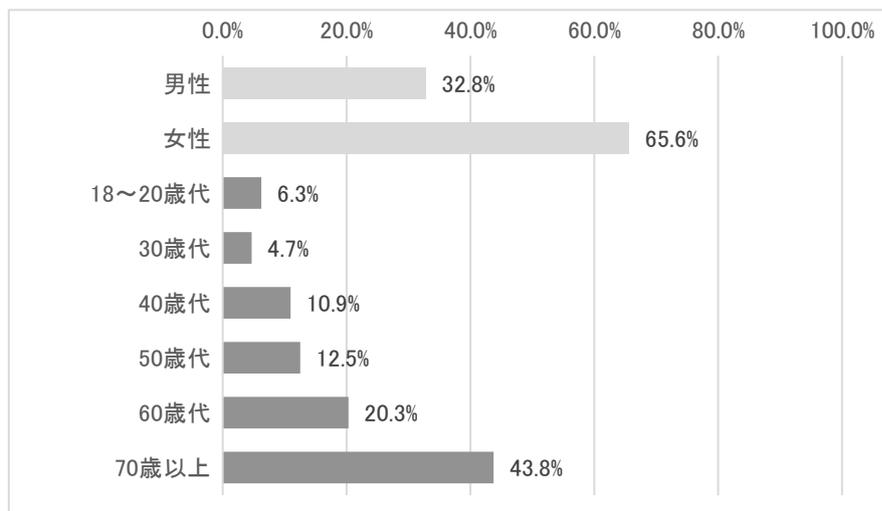


(9) この1年間に、運動やスポーツをしなかった理由 (N=64)

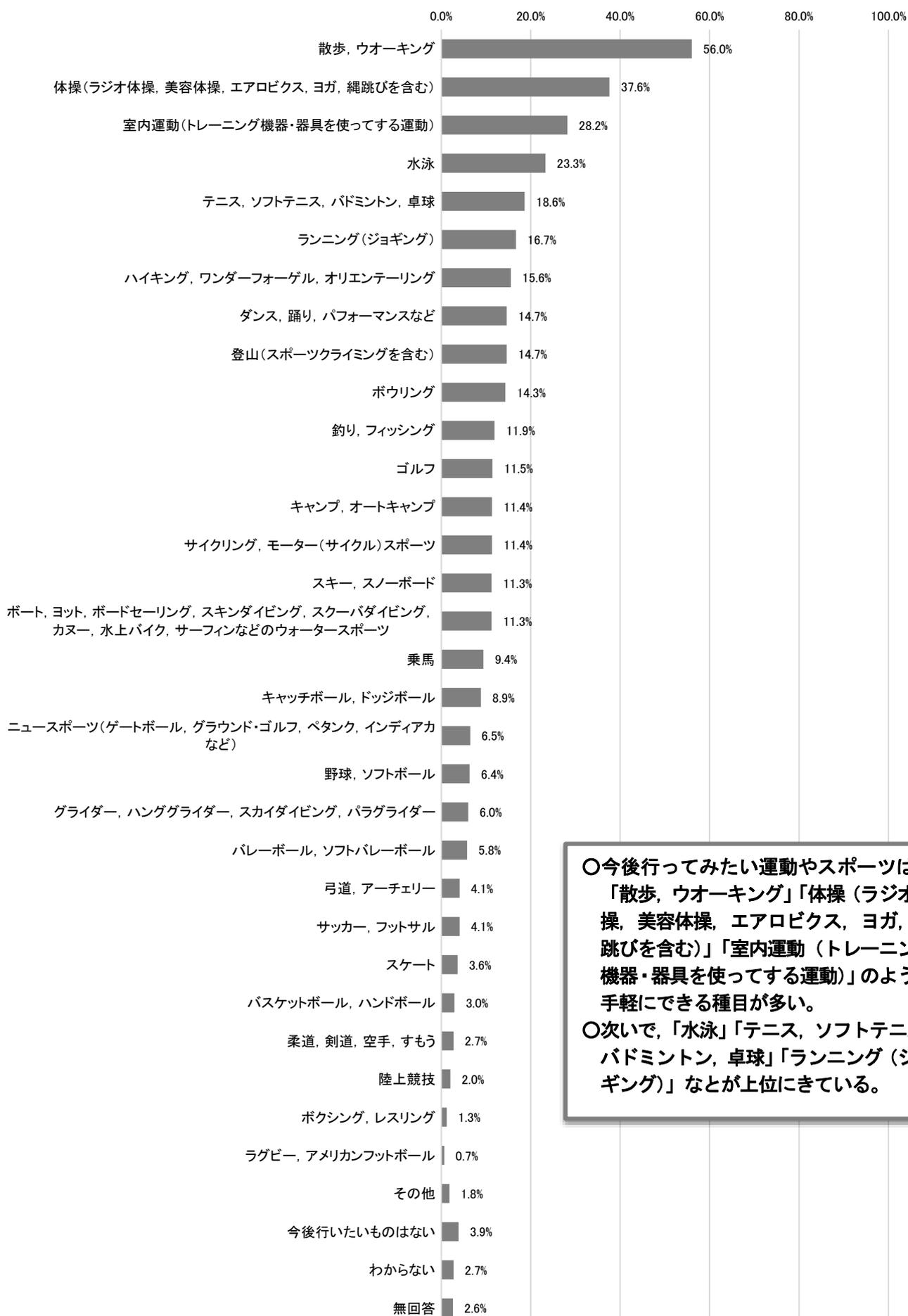
○運動やスポーツをしなかった理由は「年をとったから」が最も多い。次いで「仕事が忙しくて時間がないから」が多い。



<この1年間に運動やスポーツをしなかった理由の回答者の属性 (N=64) >

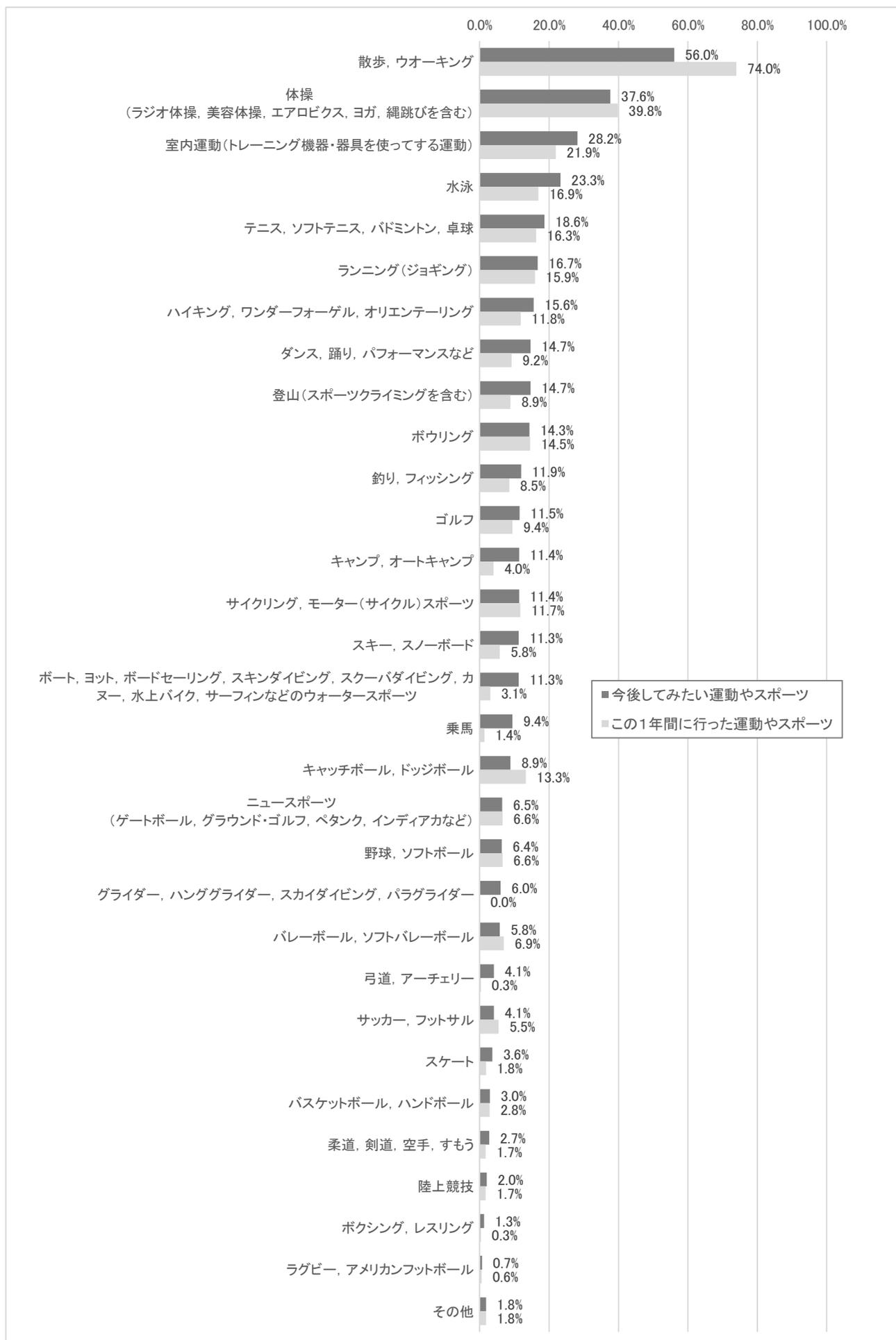


(10) 今後行ってみたい運動やスポーツの種類 (N=880)



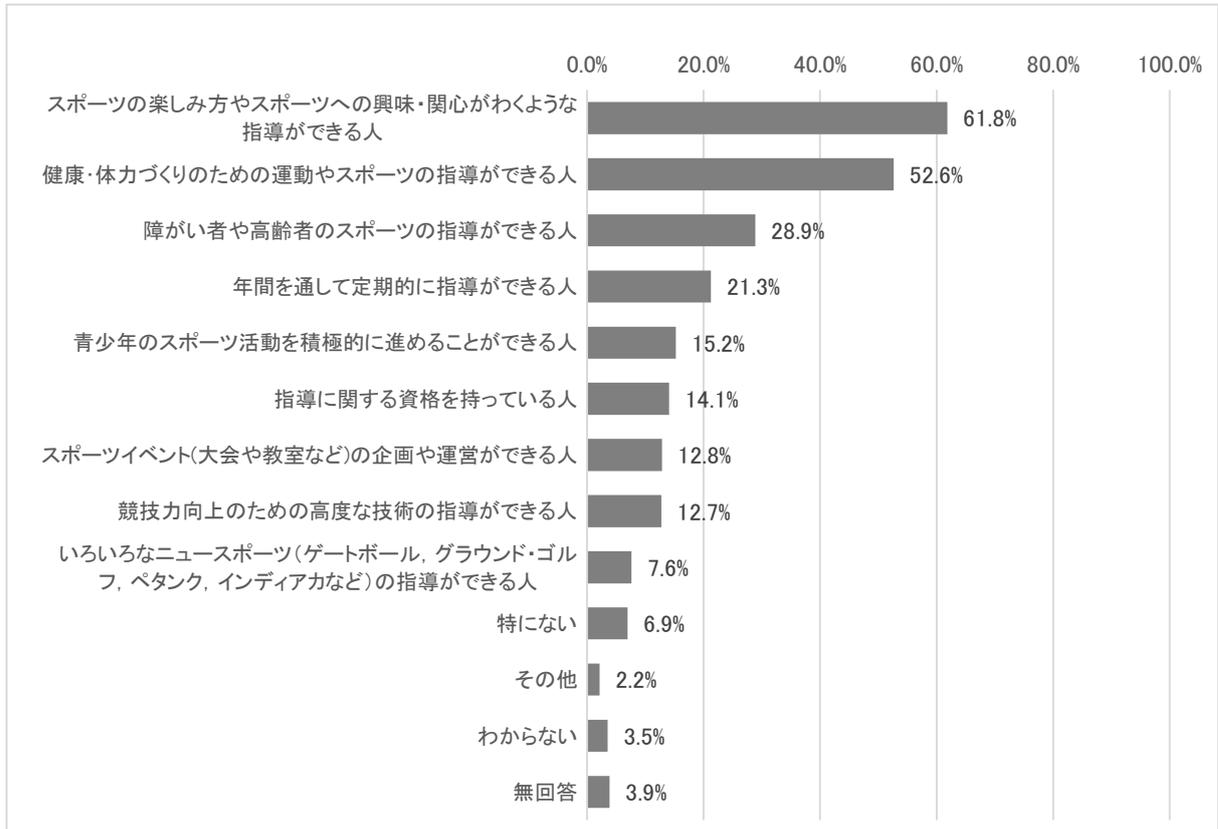
○今後行ってみたい運動やスポーツは、「散歩, ウオーキング」「体操(ラジオ体操, 美容体操, エアロビクス, ヨガ, 縄跳びを含む)」「室内運動(トレーニング機器・器具を使ってする運動)」のような手軽にできる種目が多い。
○次いで、「水泳」「テニス, ソフトテニス, バドミントン, 卓球」「ランニング(ジョギング)」などが上位にきている。

<「今後行ってみたい運動やスポーツの種類」と「この1年間に行った運動やスポーツの種類」の比較>



(11) どのようなスポーツ指導者が必要か (N=880)

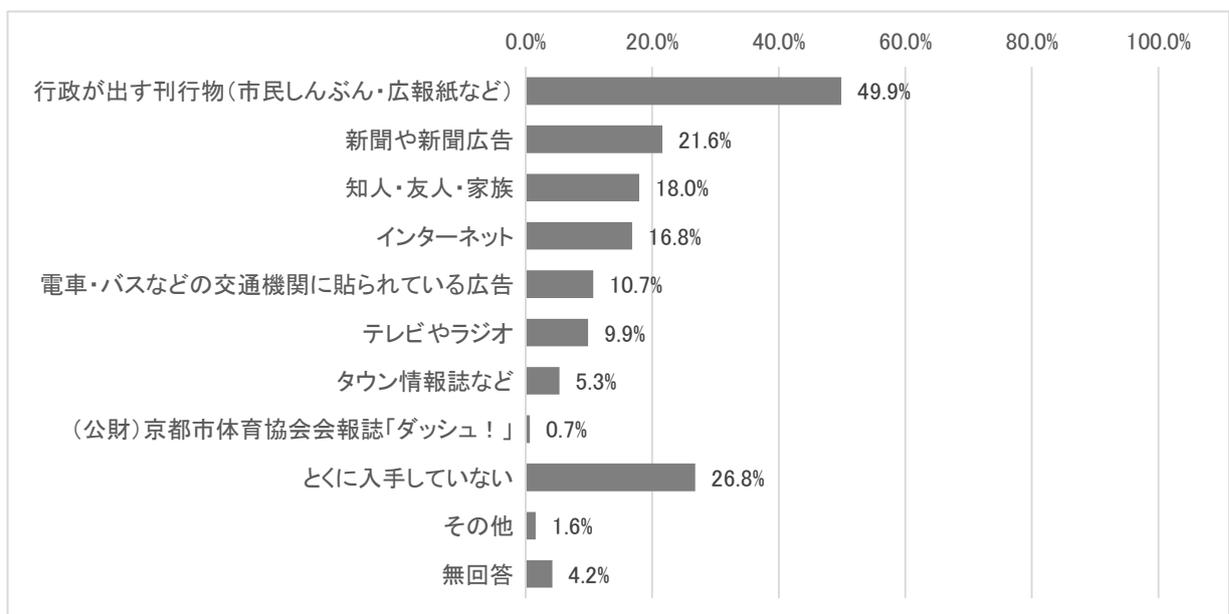
○「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる」「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる」指導者を求める人が多い。



(12) スポーツ情報の入手媒体 (N=880)

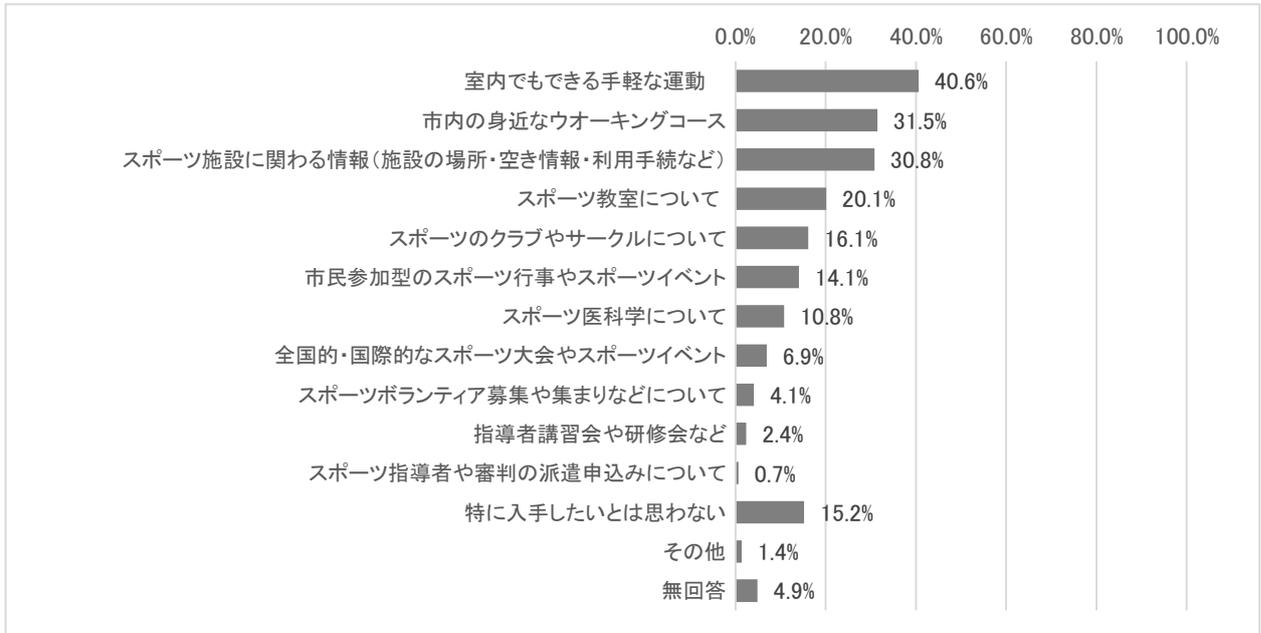
○京都市のスポーツに関わる情報は、主に「市民しんぶん・広報紙など」行政が出す刊行物から入手されている。

○一方、スポーツに関わる情報を「とくに入手していない」人が約3割。



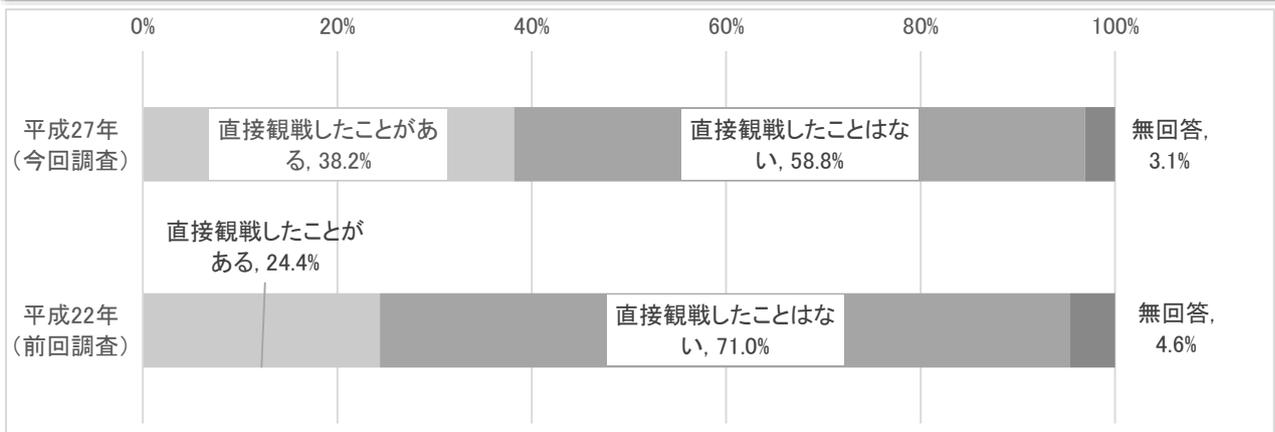
(13) 今後入手したい京都市のスポーツ情報 (N=880)

○今後、特に「室内でもできる手軽な運動」「市内の身近なウォーキングコース」「スポーツ施設に関わる」情報が求められている。



(14) スポーツの直接観戦 (N=880)

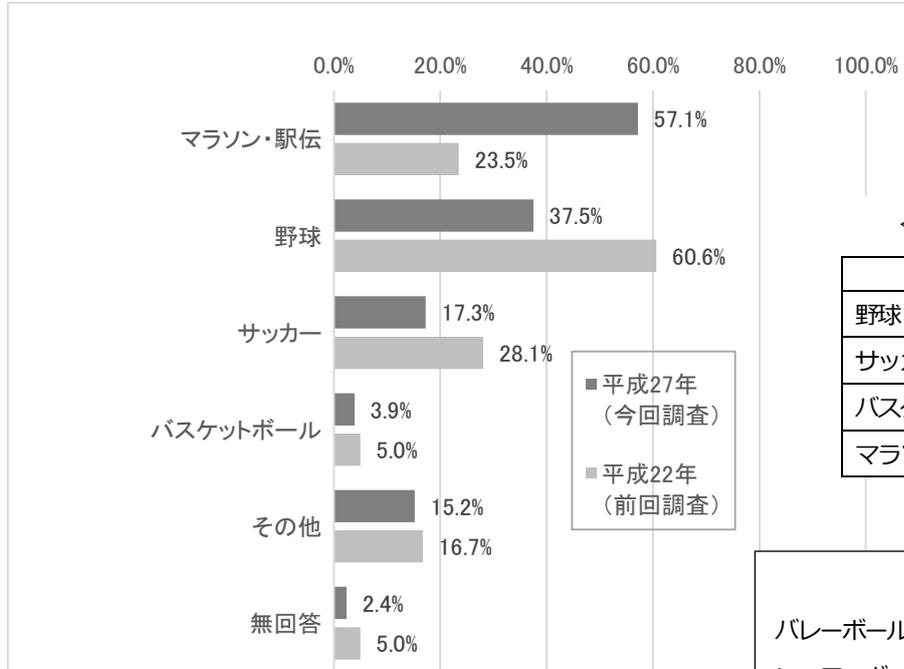
○この1年間にプロスポーツ、京都マラソンや駅伝、各種スポーツ大会などを直接観戦した人は約4割(38.2%, 前回調査は24.4%※)



※前回は観戦の対象は「プロスポーツやトップスポーツ」としていたが、今回調査では「スポーツ(プロスポーツ、京都マラソンや駅伝、各種スポーツ大会)」とした。

(15) この1年間に直接観戦したスポーツの種類 (N=336)

○この1年間に直接観戦した種目は「マラソン・駅伝」が最も多く、観戦した人のうちの約6割 (57.1%, 前回は23.5%)



<種目別平均観戦回数の状況>

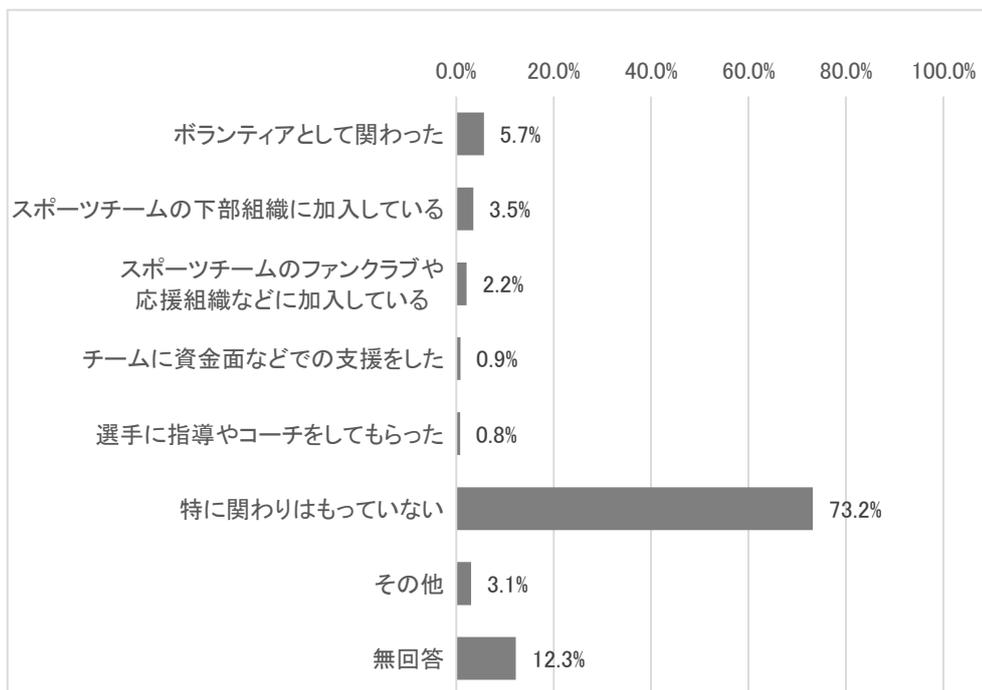
種目	平均
野球	5.4回
サッカー	3.7回
バスケットボール	1.3回
マラソン・駅伝	1.5回

<「その他」の主な内容>

バレーボール、ラグビー、ゴルフ、テニス、バドミントン、フィギュアスケートなど

(16) 観戦以外のスポーツとの関わり (N=880)

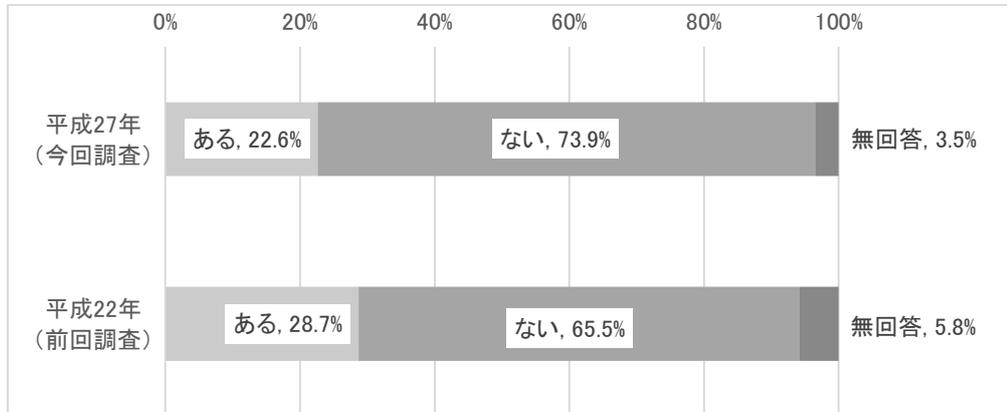
○観戦以外のプロスポーツなどとの関わりはあまりない。



(17) スポーツ行事参加の有無 (N=880)

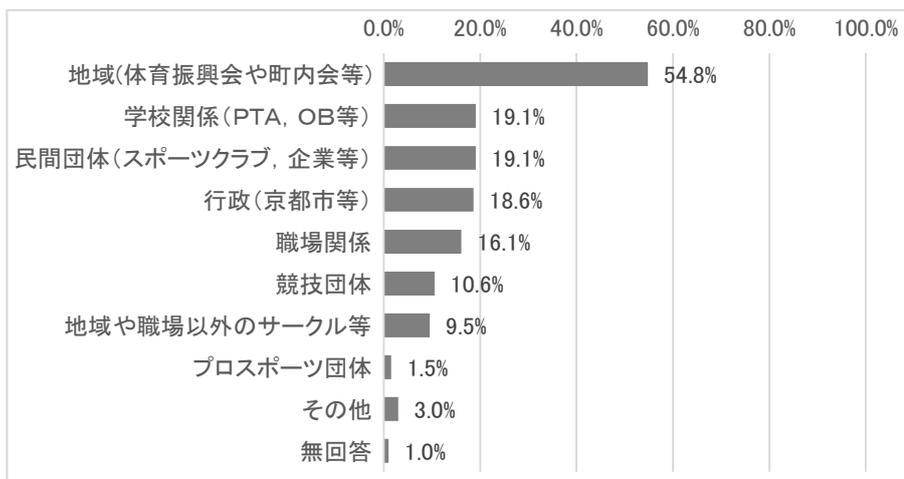
○スポーツ行事への参加者は少なく、約2割。

○スポーツ行事への参加率は、5年前より約6ポイント、15年前より約20ポイント減少。



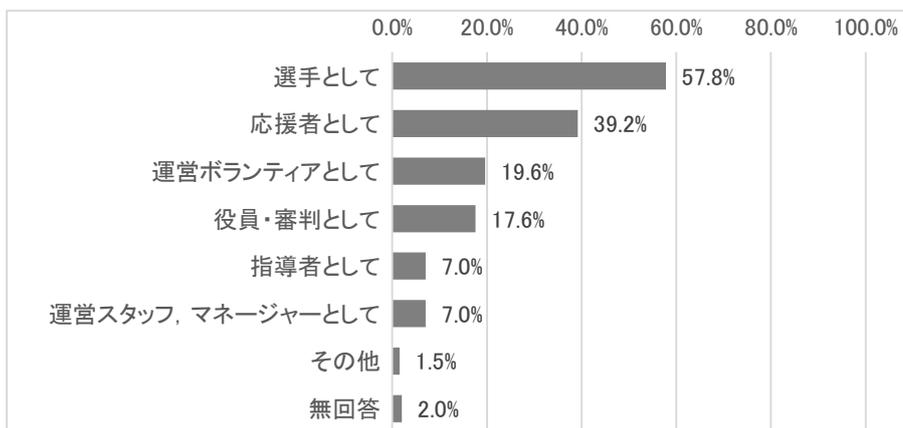
(18) 参加したスポーツ行事の主催者 (N=199)

○参加したスポーツ行事の主催者は、地域(体育振興会や町内会等)が5割を超える。



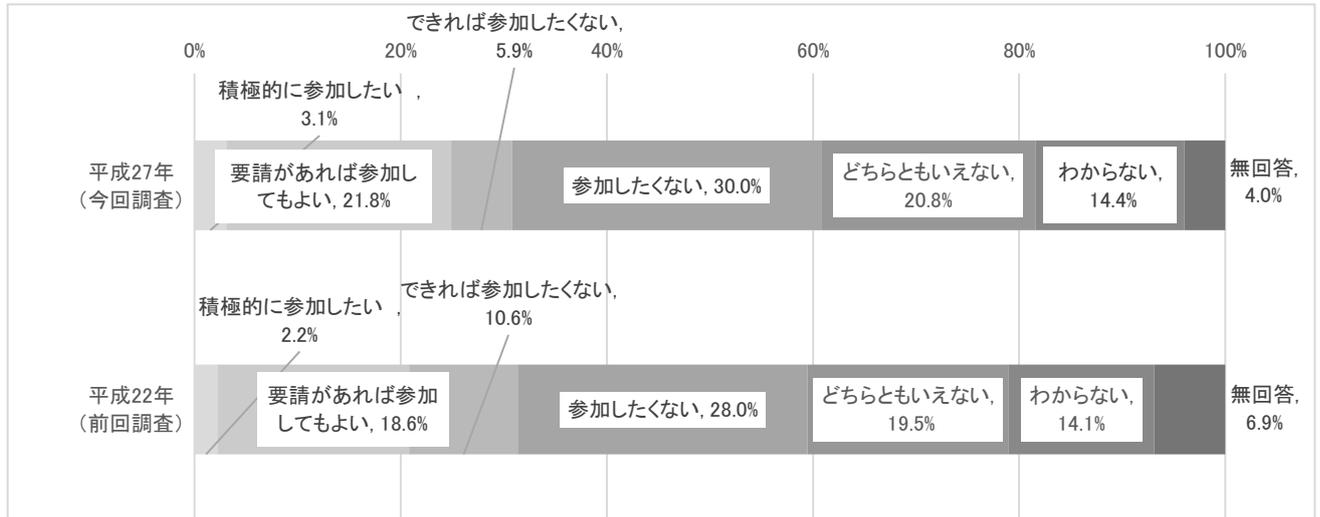
(19) 参加したスポーツ行事の参加形態 (N=199)

○スポーツ行事へは、「選手として」の参加が約6割、「応援者として」の参加が約4割。

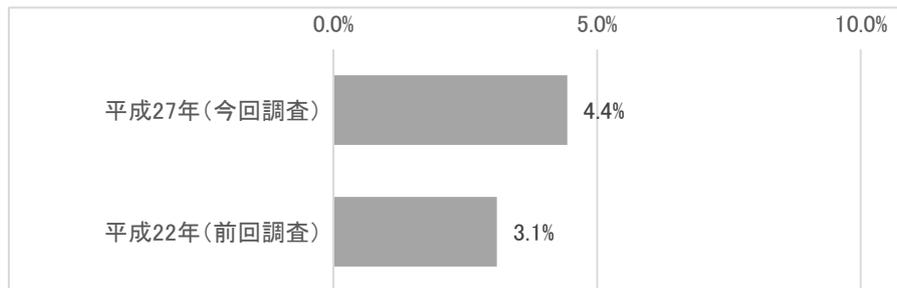


(20) スポーツボランティアとしての参加の有無 (N=880)

○「参加したい」「参加してもよい」を合わせると、およそ4人に1人(24.9%)がスポーツボランティアとしてスポーツ活動に参加してもよいと回答。(前回調査で参加してもよいと回答したのは20.8%)



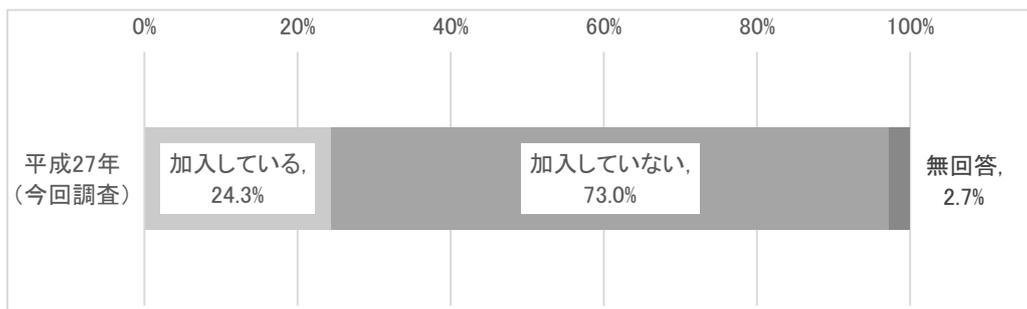
<運営ボランティアとして参加した人の割合(全体比)>



※平成27年はN=880、平成22年はN=907に占める運営ボランティアとして参加した人の割合

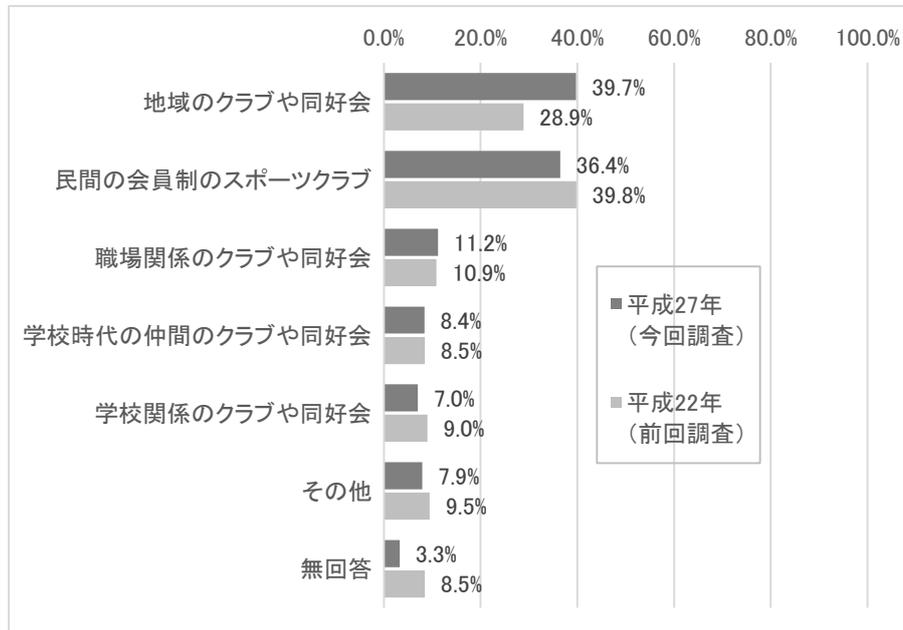
(21) スポーツクラブ・サークル等への加入状況 (N=880)

○約2割の人がスポーツクラブやサークル、同好会に加入している。



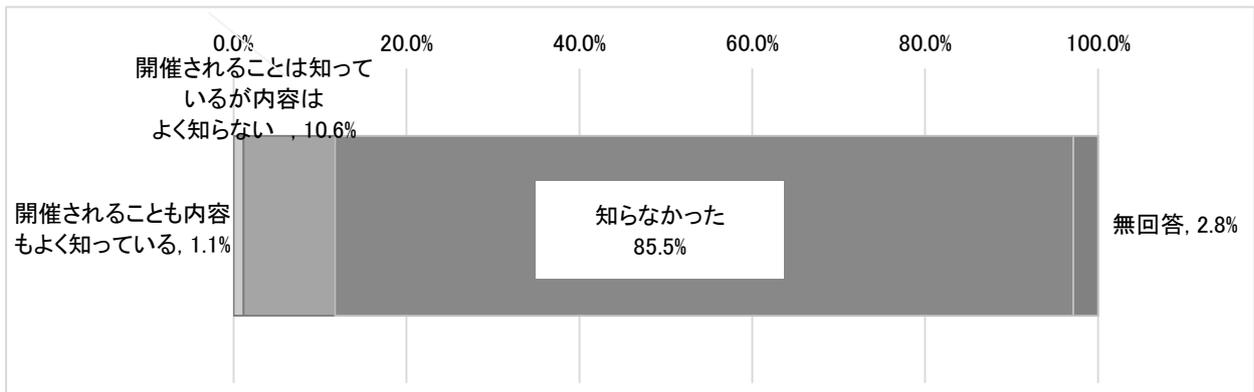
(22) 加入しているスポーツクラブ・サークル等の種類 (N=214)

○加入しているスポーツクラブやサークル, 同好会は「地域のクラブや同好会」「民間の会員制のスポーツクラブ」が多い。前回調査より「地域のクラブや同好会」が約11ポイント増えている。



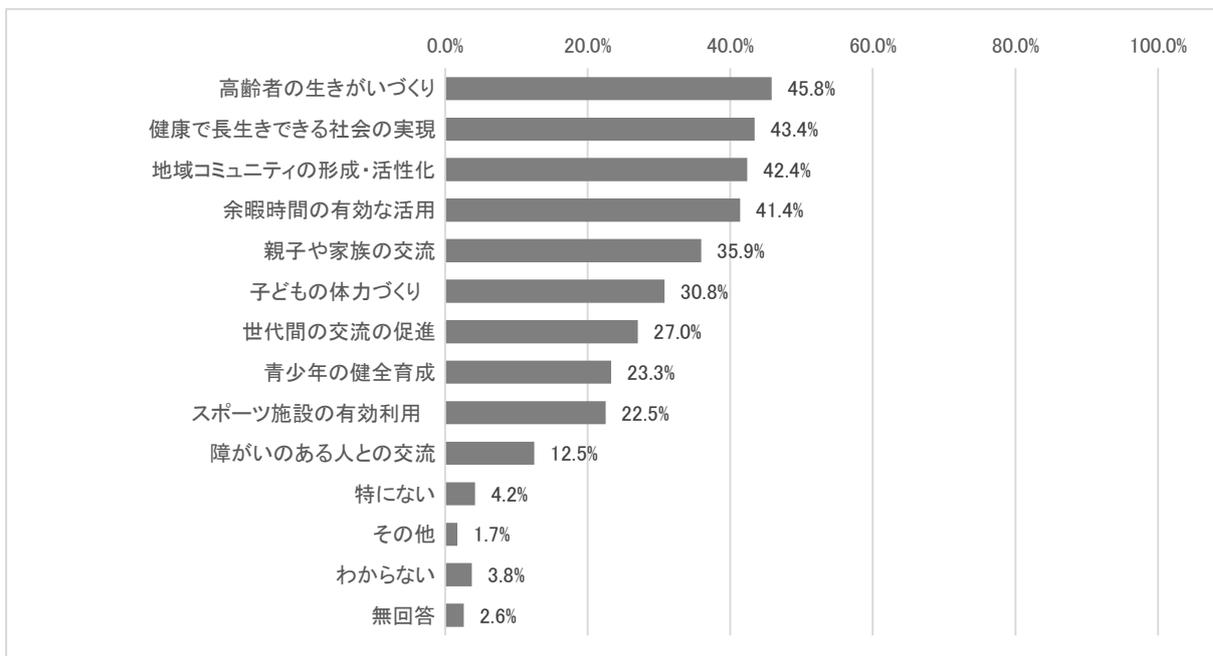
(23) 「関西ワールドマスタースゲームズ2021」の認知度 (N=880)

○「関西ワールドマスタースゲームズ2021」開催の認知度は約1割。



(24) スポーツ振興に期待する効果 (N=880)

○運動やスポーツへの取組をさかんにするにより、「高齢者の生きがいづくり」「健康で長生きできる社会の実現」「地域コミュニティの形成・活性化」「余暇時間の有効な活用」などに効果があるという回答が



(25) スポーツ振興で大切なこと (N=880)

○今後ますます運動やスポーツへの取組を活発なものにしていくには、「スポーツ施設が整備されること」「地域でスポーツに親しむ機会が増えること」「スポーツ施設の利用申込みが簡単になること(インターネットの活用等を含む)」が大切だという回答が多い。

